

Webサービス開発ガイド のご紹介

http://www.xmlconsortium.org/websv/dev_guide/

Webサービス推進委員会 技術小委員会
高野 浩義 (日立ソフトウェアエンジニアリング (株))
立川 敬行 (NTTソフトウェア (株))

A decorative graphic consisting of a purple square and a green square overlapping, with a black crosshair.

概要

- 本開発ガイドはWebサービス開発者向けのチュートリアル文書です。
- 各社のWebサービス対応プラットフォーム製品の基本情報と、同一のテーマに対する各製品での実現方法をまとめています。
- 今回は第一弾として最も単純な「HelloWorldサービス」を取り上げ、プラットフォームのインストールからサービスの作成までの一連の手順を紹介します。

製品リスト (アルファベット順)

- BEA WebLogic Server 7.0 / WebLogic Workshop
- GLUE (タスカ/The Mind Electric)
- HP Web Services Platform 2.0 (Hewlett-Packard)
- Oracle9i Application Server (Oracle)
- Serv (NTTデータ)
- WebOTX (NEC)

近日執筆予定の製品:

- Cosminexus (日立)
- INTERSTAGE Application Server (富士通)
- Sun Open Net Environment (Sun)

製品基本情報

- 一般情報

製品名, WebページURL, 製品構成, サポートOS, 推奨ハードウェアスペック, 価格, 試用版の有無およびダウンロードサイト

- サポートする仕様, 機能など

SOAP, UDDI, WSDL, セキュリティ, フロー定義, 他の分散オブジェクトとの連携機能, 負荷分散, 性能

- 開発環境など

開発言語, 開発環境(IDE), ツール群, ドキュメント

- その他

開発ガイド(チュートリアル)

- 製品インストール方法
- Web サービス(サンプル)の作成方法
 - SOAP-RPC を使用する
 - 引数なしの呼び出しに対して文字列 "HelloWorld" を返す
- 作成した Web サービスの公開方法
- クライアントからのアクセス方法 (オプション)
- その他のトピック (作成上の注意点など)

Web Logic



WebLogic Server と Workshop での Web サービス開発 - Netscape 6

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ジャンプ(G) ブックマーク(B) タスク(T) ヘルプ(H)

← → ↶ ✕

BEA WebLogic ServerTM 7.0 と BEA WebLogic WorkshopTM での Web サービス開発

WebLogicサーバでは、Web サービスを作成する方法が大きく分けて2つあります。

- コンソールベースでの作成
- GUIインタフェースを利用してインタラクティブに作成

前者の方は、作成に Java 言語もしくは EJB に関する知識と、Ant ツールに対する必要最低限の使用法を知っている必要がありますが、その分、柔軟なプログラミングが可能になるかと思えます。

後者は弊社が今年発表する『BEA WebLogic Workshop』(以下 Workshop) という新製品です。Workshop は Delphi や VisualBasic などのような視覚的かつ直感的なユーザインタフェースを持ち、Java にあまりなじみのないユーザであっても容易に Java の世界で Web サービスを構築・拡張していただけます。

では、早速それぞれの方法で Web サービスを作成してみましょう。

- [コンソールベースで Web サービスを作成してみる](#)
- [Workshop \(GUI ベース\) で Web サービスを作成してみる](#)

[もどる](#)

Copyright © XML Consortium, 2002. All rights reserved.
Copyright © BEA Systems, Inc. All rights reserved.

ドキュメント:完了 (0.75 秒)

GLUE

GLUE Tutorial - Netscape 6

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ジャンプ(G) ブックマーク(B) タスク(T) ヘルプ(H)

http://www.xmlconsortium.org/member/web/ws_tech

GLUE / tutorial

GLUEによるWebサービス構築

Tutorial Overview

ここでは、GLUEを利用したWebサービスの公開/利用にいたるまでのTutorialを紹介する。GLUEはJavaのミドルウェアなので、javaのソースコードをコンパイル/実行できる環境であればこのチュートリアルは実行できる。このチュートリアルでは以下の項目に関して紹介する。

- ・インストール方法

GLUEのインストールは非常に簡単で、環境変数を設定するだけである。
- ・Webサービスの発行

GLUEではWebサービスの発行をする際に以下の2つの手段を選択できる。

 - 1) プログラムを作成せずに発行する方法
「glue」ユーティリティを利用して、javaのコードを書かずに発行する方法
 - 2) プログラムを作成して発行する方法
たった2行のコードを利用するだけで、Webサービスを発行する方法

本チュートリアルでは、2)の「プログラムを作成して発行する方法」に関して紹介する。1)の方法に関しては、[GLUE日本語ユーザーガイド](#)の、「基礎→Webサービスの公開」の章を参照していただきたい。
- ・Webサービスの利用

GLUEによるWebサービスの利用。ダイナミックに生成されるプロキシを利用してWebサービスを利用する。さて、インストールの説明をする前にチュートリアルこのチュートリアルを実行するための環境について説明をする。このチュートリアルは以下の環境で作成した。これ以降、特に説明のない場合はこの環境で説明しているものとする

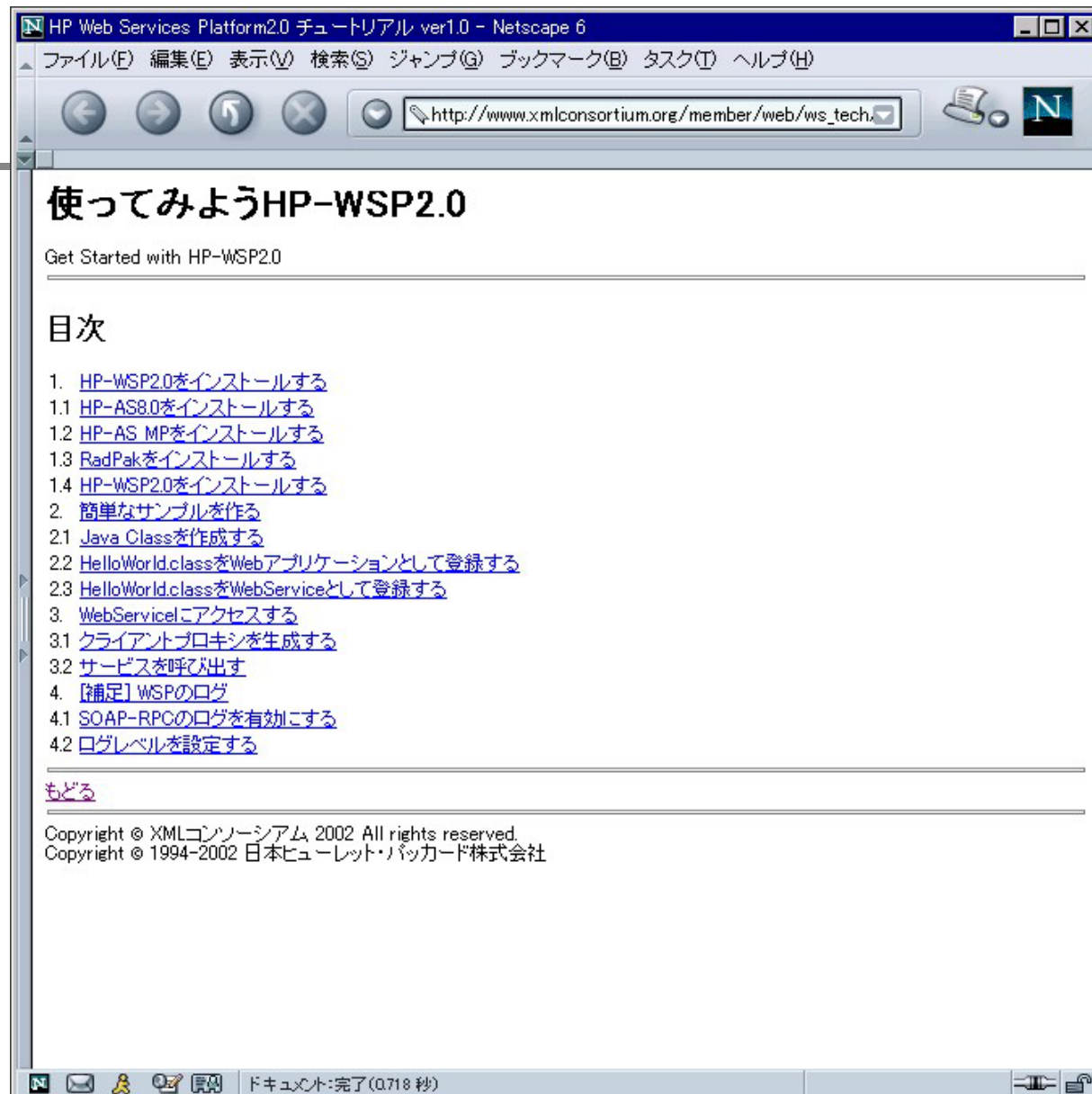
実行環境	JDK1.3.1_02
GLUEインストールディレクトリ	c:\GLUE
チュートリアル実行ディレクトリ	c:\tutorial

GLUEのインストール

GLUEはWebサービスを構築するために必要なものは、すべて含んでいる。このため単体で動作させることが可能でGLUE以外のサーバー（たとえばHTTPサーバーなど）の設定は一切いらないため、非常に簡単にインストールすることが可能だ。なお、このインストールの詳細は、[GLUE日本語ユーザーガイド](#)の「はじめに→インストール」を参照していただきたい。

ドキュメント:完了(1.156 秒)

HP- WSP2.0



HP Web Services Platform2.0 チュートリアル ver1.0 - Netscape 6

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ジャンプ(G) ブックマーク(B) タスク(T) ヘルプ(H)

http://www.xmlconsortium.org/member/web/ws_tech

使ってみようHP-WSP2.0

Get Started with HP-WSP2.0

目次

1. [HP-WSP2.0をインストールする](#)
 - 1.1 [HP-AS8.0をインストールする](#)
 - 1.2 [HP-AS MPをインストールする](#)
 - 1.3 [RadPakをインストールする](#)
 - 1.4 [HP-WSP2.0をインストールする](#)
2. [簡単なサンプルを作る](#)
 - 2.1 [Java Classを作成する](#)
 - 2.2 [HelloWorld.classをWebアプリケーションとして登録する](#)
 - 2.3 [HelloWorld.classをWebServiceとして登録する](#)
3. [WebService1にアクセスする](#)
 - 3.1 [クライアントプロキシを生成する](#)
 - 3.2 [サービスを呼び出す](#)
4. [\[補足\] WSPのログ](#)
 - 4.1 [SOAP-RPCのログを有効にする](#)
 - 4.2 [ログレベルを設定する](#)

[もどる](#)

Copyright © XML Consortium 2002 All rights reserved.
Copyright © 1994-2002 日本ヒューレット・パッカード株式会社

ドキュメント:完了 (0718 秒)

Oracle9i JDeveloper



無題 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Oracle9i JDeveloperを使ってWebサービスを構築する方法

Oracle9i JDeveloperとは

- Oracle9i JDeveloper (以下 9i JDeveloper)は、Java/XML/SQLでの統合開発環境を提供します。
- Pure Javaで作られた9i JDeveloperは、Javaのコンパイル、デバックだけでなくUMLや構成管理を含めた開発ライフサイクルをトータルでサポートします。

ここでは、“Hello World”を返すWebサービスをほとんどプログラミングなしでEJBコンポーネントとして作成し、アプリケーションサーバーに配布する方法を解説します。

尚、アプリケーションサーバーには9i JDeveloperに同梱されているServlet/JSP/EJBコンテナであるOC4J(Oracle9iAS Containers for J2EE)を用います。尚、J2EE準拠のアプリケーションサーバーであれば配布することが可能です。今回、Javaのプログラミングがほとんどありません。Javaが苦手な方でも簡単にWebサービスが構築できる内容となっています。

目次

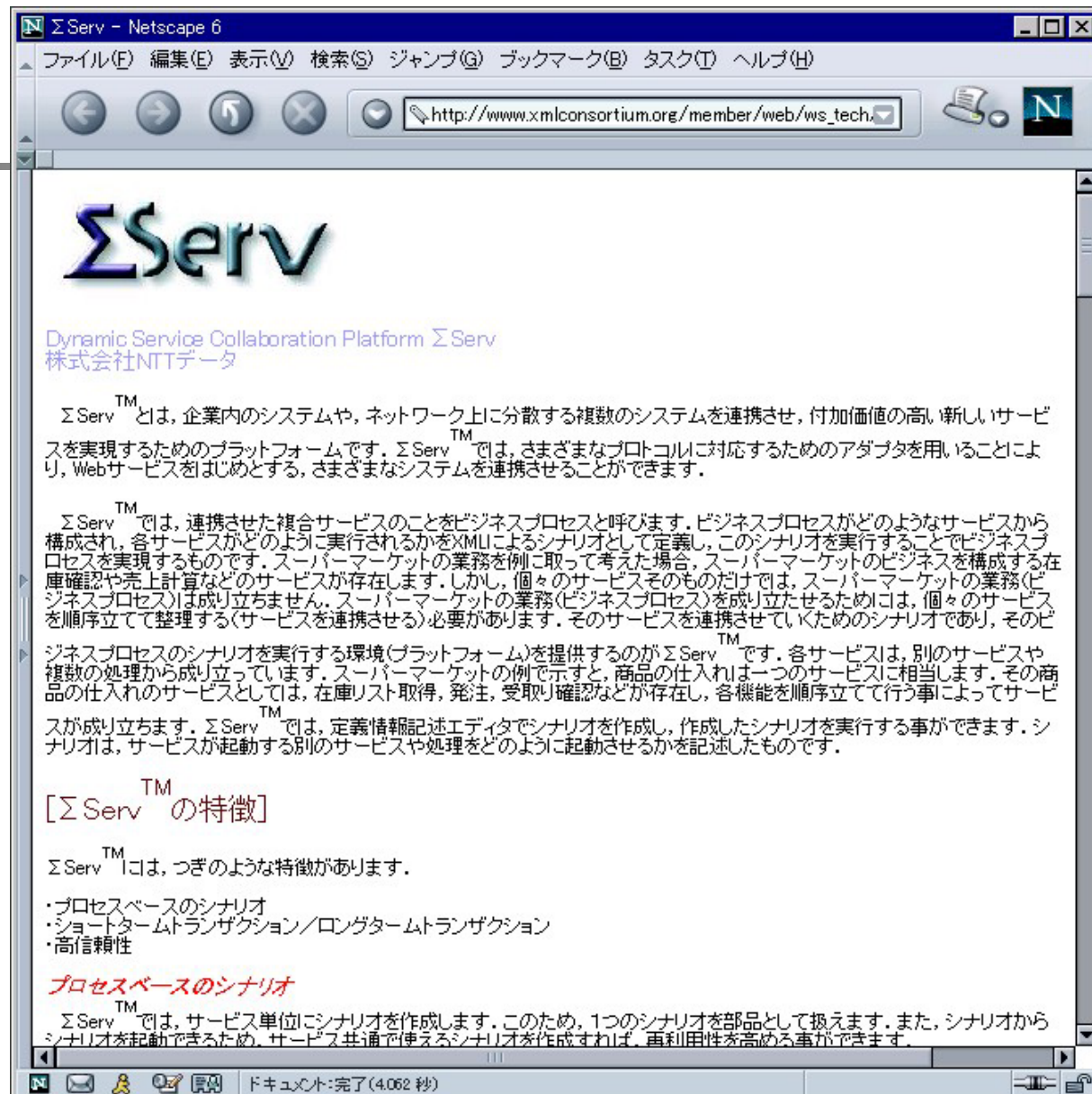
1. [9i JDeveloperを入手しよう](#)
2. [9i JDeveloperを起動しよう](#)
3. [ワークスペース・プロジェクトの作成](#)
4. [EJBコンポーネントの作成](#)
5. [Oracle 9iAS Containers for J2EE\(OC4J\)の起動](#)
6. [9i JDeveloperからOC4Jへの接続](#)
7. [Webサービス化するEJBコンポーネントを配布\(deploy\)する](#)
8. [9i JDeveloperを使ったプロキシクラス\(proxy class\)の生成](#)

1. 9i JDeveloperを入手しよう

9i JDeveloperは、弊社のOTN(Oracle Technology Network)の以下のサイトからダウンロードできます。OTNは会員が12万人(2002年5月現在)を超える技術者専用情報サイトです。誰でも登録すれば無償で利用することができます。Oracle9iやJava/OTN 関連の技術資料がここにあります。

マイコンピュータ

Serv



Σ Serv - Netscape 6

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ジャンプ(G) ブックマーク(B) タスク(T) ヘルプ(H)

http://www.xmlconsortium.org/member/web/ws_tech.

ΣServ

Dynamic Service Collaboration Platform Σ Serv
株式会社NTTデータ

Σ ServTMとは、企業内のシステムや、ネットワーク上に分散する複数のシステムを連携させ、付加価値の高い新しいサービスを実現するためのプラットフォームです。Σ ServTMでは、さまざまなプロトコルに対応するためのアダプタを用いることにより、Webサービスをはじめとする、さまざまなシステムを連携させることができます。

Σ ServTMでは、連携させた複合サービスのことをビジネスプロセスと呼びます。ビジネスプロセスがどのようなサービスから構成され、各サービスがどのように実行されるかをXMLによるシナリオとして定義し、このシナリオを実行することでビジネスプロセスを実現するものです。スーパーマーケットの業務を例に取って考えた場合、スーパーマーケットのビジネスを構成する在庫確認や売上計算などのサービスが存在します。しかし、個々のサービスそのものだけでは、スーパーマーケットの業務(ビジネスプロセス)は成り立ちません。スーパーマーケットの業務(ビジネスプロセス)を成り立たせるためには、個々のサービスを順序立てて整理する(サービスを連携させる)必要があります。そのサービスを連携させていくためのシナリオであり、そのビジネスプロセスのシナリオを実行する環境(プラットフォーム)を提供するのがΣ ServTMです。各サービスは、別のサービスや複数の処理から成り立っています。スーパーマーケットの例で示すと、商品の仕入れは一つのサービスに相当します。その商品の仕入れのサービスとしては、在庫リスト取得、発注、受取り確認などが存在し、各機能を順序立てて行う事によってサービスが成り立ちます。Σ ServTMでは、定義情報記述エディタでシナリオを作成し、作成したシナリオを実行する事ができます。シナリオは、サービスが起動する別のサービスや処理をどのように起動させるかを記述したものです。

[Σ ServTMの特徴]

Σ ServTMには、つぎのような特徴があります。

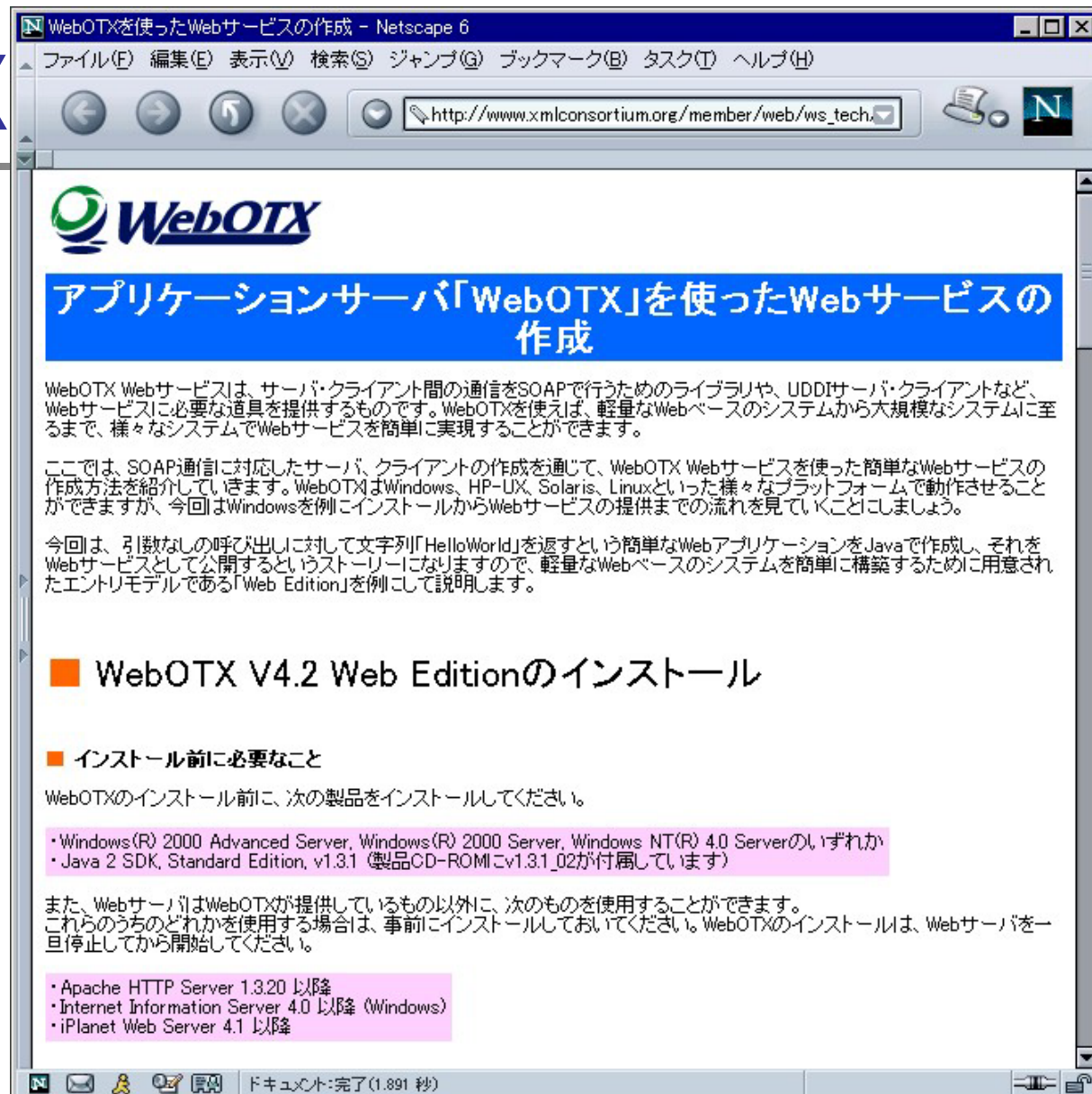
- ・プロセスベースのシナリオ
- ・ショートタームトランザクション/ロングタームトランザクション
- ・高信頼性

プロセスベースのシナリオ

Σ ServTMでは、サービス単位にシナリオを作成します。このため、1つのシナリオを部品として扱えます。また、シナリオからシナリオを起動できるため、サービス共通で使えるシナリオを作成すれば、再利用性を高める事ができます。

ドキュメント:完了(4.062 秒)

WebOTX



WebOTX Webサービスは、サーバ・クライアント間の通信をSOAPで行うためのライブラリや、UDDIサーバ・クライアントなど、Webサービスに必要な道具を提供するものです。WebOTXを使えば、軽量なWebベースのシステムから大規模なシステムに至るまで、様々なシステムでWebサービスを簡単に実現することができます。

ここでは、SOAP通信に対応したサーバ、クライアントの作成を通じて、WebOTX Webサービスを使った簡単なWebサービスの作成方法を紹介していきます。WebOTXはWindows、HP-UX、Solaris、Linuxといった様々なプラットフォームで動作させることができますが、今回はWindowsを例にインストールからWebサービスの提供までの流れを見ていくことにしましょう。

今回は、引数なしの呼び出しに対して文字列「HelloWorld」を返すという簡単なWebアプリケーションをJavaで作成し、それをWebサービスとして公開するというストーリーになりますので、軽量なWebベースのシステムを簡単に構築するために用意されたエントリモデルである「Web Edition」を例として説明します。

■ WebOTX V4.2 Web Editionのインストール

■ インストール前に必要なこと

WebOTXのインストール前に、次の製品をインストールしてください。

- Windows (R) 2000 Advanced Server, Windows (R) 2000 Server, Windows NT (R) 4.0 Serverのいずれか
- Java 2 SDK, Standard Edition, v1.3.1 (製品CD-ROMにv1.3.1_02が付属しています)

また、WebサーバはWebOTXが提供しているもの以外に、次のものを使用することができます。これらのうちのどれかを使用する場合は、事前にインストールしておいてください。WebOTXのインストールは、Webサーバを一旦停止してから開始してください。

- Apache HTTP Server 1.3.20 以降
- Internet Information Server 4.0 以降 (Windows)
- iPlanet Web Server 4.1 以降

ドキュメント:完了(1.891 秒)

公開URL

- http://www.xmlconsortium.org/websv/dev_guide/



Webサービス開発ガイド - Netscape 6

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ジャンプ(G) ブックマーク(B) タスク(T) ヘルプ(H)

Webサービス開発ガイド

■ 製品基本情報

Webサービス関連製品の基本情報一覧です。

- [製品基本情報リスト](#) (Excelファイル (仮))

■ チュートリアル

1st step: HelloWorld

ここではごく簡単なWebサービスを題材にし、製品のインストールからWebサービスの作成、公開までの一連の手順を解説します。読者対象として開発初心者 (C++, Java で HelloWorld を作ったことがある程度) を想定しています。

Webサービスの仕様

- SOAP-RPCを使用する
- 引数なしの呼び出しに対して文字列 "HelloWorld" を返す

各製品での実装方法 (アルファベット順)

- [GLUE](#) (タスカ/The Mind Electric)
- [HP Web Services Platform 2.0](#) (Hewlett-Packard)
- [Σ Serv](#) (NTTデータ)
- [WebLogic Server 7.0 / WebLogic Workshop](#) (BEA)
- [WebOTX](#) (NEC)

以下は近日執筆予定の製品です。

A decorative graphic consisting of a purple square, a green square, and a black crosshair.

今後の予定

- シナリオ追加
UDDI検索, ワークフロー, トランザクション, ...
- Apache Axis等オープンソース系ライブラリの
開発ガイド執筆